

科目	学年・小学科	単位数
ビジネス経済	2年・商業科	2
教科書	実教出版「ビジネス経済」	
副教材	実教出版「ビジネス経済問題集」・全商商業経済検定問題集	

## 1. 学習目標

1. 現代経済において経済理論が果たす役割とそれを学ぶ意義を理解させる。
2. ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得させる。
3. 経済の仕組みや概念について理解させる。
4. 経済に関する基礎的な理論を基に、経済事象を主体的に考える能力と態度を育てる。

## 2. 学習方法

- 授業・主体的に学習する姿勢を身につけさせるために、グループワーク等の活動を取り入れる。
  - ・経済の仕組みや理論について様々な視点から考察する。
  - ・社会情勢や経済情勢との関わりを学ぶため、情報機器や教材等を活用する。
- 予習・特に予習は課さないが、事前に教科書に目を通すなどして授業内容の確認をすることが望ましい。
  - ・世の中の醸成に興味関心を持ち、新聞やニュース等で常に情報収集することを心がける。
- 復習・授業内容の定着をはかるため、単元終了時に課題を課し、小テストを実施する。
  - ・問題集やノートを活用して、適宜課題を課す。

## 3. 評価の観点と趣旨

① 関心・意欲・態度	現在の経済状態について関心を持ち、その展望について自らの考えを整理する意欲や態度が身についているか。
② 思考・判断・表現	経済活動に関する諸問題を理解し解決するために、日頃から自らの思考を深めるとともに、学習した知識や見識を活用し、経済が抱える諸問題を適切に判断して、その解決について創造する能力が身についているか。
③ 技能	経済に関するさまざまな情報や資料を各メディアから収集し、そのなかから適切なものを選択して、主体的に活用する能力が身についているか。
④ 知識・理解	経済社会におけるミクロ経済理論、マクロ経済理論の位置づけとその応用範囲について理解し、さまざまな経済に対する意見を参考に、主体的に自らの意見を発する能力が身についているか。
⑤	

科目名	学年・小学科	単位数
ビジネス経済	2 学年・商業科	2 単位

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法	
			①	②	③	④	⑤			
前期中間	Introduction1	世界の中の日本経済	○					身近な経済事象と世界経済のつながりについて関心を持ち、経済学を学ぶ意欲があるか。	授業観察 ワークシート 定期考査 課題提出	
	Introduction2	市場に囲まれた生活	○							
	Introduction3	市場の成立	○							
	第1章 市場と経済	第1節 資源配分のしくみ	1 さまざまな財 2 資源配分メカニズム 3 市場メカニズム 4 効率的な資源配分 5 組織による資源配分 6 市場と組織 7 市場経済と計画経済	○						資源の希少性を理解し、資源配分メカニズムに関心を持っているか。 それぞれの財について、市場による資源配分と組織による資源配分のどちらを選択すべきであるか判断し表現できるか。  さまざまな財について、市場と組織の使い分けを考慮しながら最も効率的に配分する能力が身についているか。  市場経済と計画経済についてそれらの相違点を理解しているか。
第2節 現代の市場経済とビジネス		1 現代の市場 2 市場と競争	○ ○					市場の発達について関心を持ち、現代の市場経済の動向を理解しようとする意欲や態度が身についているか。		
前期末	第2章 需要と供給	第1節 需要の概念と需要の変化	1 財と市場 2 需要の概念 3 最適な消費行動 4 効用と消費量の関係 5 需要の変化 6 代替材と補完財 7 需要の弾力性				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	需要の変化が起きる要因を理解し、その影響について理解しているか。  さまざまな財について、価格や所得の変化から需要量の変化を予測することができるか。  代替効果と補完効果について表現することができるか。 需要の価格弾力性について表現し、合理的な価格決定を思考できるか。	授業観察 ワークシート 定期考査 課題提出	
		第2節 供給の概念と供給の変化	1 供給の概念 2 限界費用 3 企業の最適生産 4 供給の弾力性				○ ○ ○ ○	供給の変化が起きる要因を理解し、そこからもたらされる変化について理解しているか。  限界費用増の法則について表現することができるか。 供給の価格弾力性について、さまざまな生産条件を加味しながら表現することができるか。		
	第3章 価格決定と市場の役割	第1節 価格決定のしくみ	1 市場の均衡 2 近郊の変化	○ ○						需要と供給の関係から、価格や取引量を考察する態度が身についているか。
			第2節 市場の役割と課題	1 市場経済における財と生産要素の配分 2 不完全競争と独占 3 不完全競争と寡占 4 自由競争と政府 5 不完全競争と独占的競争 6 政府の規制と課税 7 市場の限界	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					市場での競争の状態による価格形成について関心を持ち、現実の社会の中で例を求めようとする態度が身についているか。  現実の市場の状況を競争の状態から判断し、競争と経済のあり方を表現することができるか。  市場に対する政府の関与が価格や経済に及ぼす影響を理解しているか。

後期中間	経済成長と景気循環	第4章	第1節 GDP(国内総生産)	1 付加価値とGDP 2 日本のGDP 3 GDPと豊かさ 4 国民総生産 5 資本ストック	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	極端に簡略化された数値モデルを用いて、付加価値や最終生産物という観点から、GDPを算出することができるか。  「豊かさ」について関心を持ち、さまざまな資料や指標から考察する態度が身についているか。	授業観察 ワークシート 定期考査 課題提出
		第2節 経済循環	1 家計と企業 2 政府と外国 3 三面等価	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	家計、企業、政府、外国の経済循環について論理的に理解しているか。  経済の三面等価について図や式を用いて表現する技能を持っているか。	
		第3節 物価と実質GDP	1 物価指数 2 物価上昇率 3 インフレーションとデフレーション	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	物価指数に関心を持ち、物価指数から物価上昇率を求める態度を身につけているか。 物価指数を用い、物価変動を表現することができるか。 インフレーションやデフレーションについて理解しているか。	
		第4節 経済成長	1 日本の経済成長 2 経済成長の要因 3 日本経済を成長させるもの	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	わが国の経済成長に関心を持ち、そのための方策について意欲的に考える態度を身につけているか。  戦後のわが国の経済成長についての知識を持っているか。	
		第5節 景気変動とインフレーション	1 景気指数 2 景気変動の要因 3 物価変動の要因 4 国際化と景気変動 5 景気変動の弊害 6 物価変動の弊害	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	
後期末	経済政策	第5章 経済政策	第1節 財政	1 政府の役割 2 混合経済体制 3 国の予算制度 4 社会保障制度 5 税 6 財政赤字と国債 7 地方財政	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	資源配分機能、所得再分配機能、景気安定化機能に関心を持っているか。  混合経済体制について表現できるか。 わが国の予算制度の特徴と課題について表現できるか。 わが国の社会保障制度の概要と課題について表現できるか。  直接税と間接税のそれぞれについて機能や効果を理解しているか。 わが国の国債依存度に対する知識を持っているか。 地方財政についての知識を持ち、その課題について理解しているか。	授業観察 ワークシート 定期考査 課題提出
		第2節 金融	1 ポートフォリオ選択 2 直接金融と間接金融 3 貨幣 4 日本銀行 5 預金通貨とマネーストック 6 準備預金制度 7 信用創造 8 金融政策	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	収益性とリスクを考慮したポートフォリオ選択を行う技能の概念を身につけているか。  証券化や市場型間接金融についての知識を持っているか。 貨幣の役割について表現できるか。  日本銀行の役割について表現できるか。  マネーストックの概念や分類に対して関心を持っているか。 準備預金制度に関心を持っているか。  経済の状況を的確に判断し、のぞまれる金融政策について論理的に考察する技能が身についているか。	